

編集後記

(65巻 第7号 2019年7月)

6月初旬に日独泌尿器科会議に出席するため弘前と秋田を訪れた。これは、1986年にドイツの Hohenfellner 先生と兵庫医科大学の(故)生駒先生によって創設された3年に一度のセミクローズドの会で、ドイツと日本が交互に開催地となってきた。ちなみに、今年で12回目となり、6年前の会は関西で開催され、兵庫医大、近畿大学と私たち京都大学の3校がお世話をさせていただいた。残念ながら生駒先生は他界されてしまったが、Hohenfellner 先生は今年も日本に来られ、学術集会のみならず、懇親会などのソーシャルプログラムにも楽しそうに参加されていた。

この時期、秋田ではジュンサイが旬を迎えます(「蓴菜」と書くそうです)。味噌汁などいろいろな食べ方がありますが、シンプルにポン酢で食べるのが大好きです。今回も大量に買い込んで帰りましたが、井一杯くらいは、お酒を飲みながらぺろりと食べてしまいます。市場では小さいジュンサイの方が高いようですが、私は大きいほうが食感がよくわかって好きです。皆さんは、どう思われますか。

(小川 修)